

3月危機の虚実

政治ジャーナリスト
後藤謙次

- *失速し始めた野田政権
- *二人の恩人、興石氏と岡田氏
- *防衛相後任人事に失敗
- *鬼門の社会保障と税の一体改革
- *今後の展望に五つの前例パターン
- *しようにもできない？解散
- *浮上した「話し合い解散」
- *石原新党は難しい
- *無理が並立する「船中八策」
- *砂塵もうもうの状況



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は共同通信の編集局長をされた後藤さん
においでいただきました。後藤さんはTBSほ
か長くテレビに出られておられて、なかなかお
いでいただけなかったのですけれども、前回か
ら経済倶楽部のレギュラー講師という感じでお
願いでしております。前回もわかりやすい明快な
お話でした。

政局はもう何があっても誰も驚かないし、逆
に大して興味がわかない方もおられるかもしれ
ませんけれども、そうはいっても日本の将来の
ためにも政治がしっかりしてくれなければいけ
ません。これからどうなるか、選挙の見通しを
含めてじっくり伺いたいと思います。それでは
よろしくお願いたします。（拍手）

後藤 皆さんこんにちは。ご紹介いただいた

後藤です。最初にお断りしておきますが、今の
政治は語るのがなかなか難しい。私は鈴木善幸
さんの時代から政治記者を始めて、30年の間、
一日も欠かさずウオッチしてきたのですけれど
も、今ぐらいわからないときはありません。過
去の政治はいろいろな要素が整えば、最低限二
者択一ぐらいつままで結論が見通せる状況があつた
のですが、ここに来ましてほとんど見通せない。
まさにその日暮らしの政治が続いています。

今日2月17日は、結論は聞いておりませんが、
政治的には大きな節目になる日です。一つは社
会保障と税の一体改革です。与野党協議がまっ
たく進まない中で、野田佳彦首相が政府として
法案の前提となる概要である大綱を決定する日